

# 長坂

## 玄海に 波音高く

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

平戸市立生月中学校  
学校だより 第21号  
(令和6年2月)  
文責 堀江 泰賢

### 正しい箸づかいを、楽しみながら学びました！～令和5年度 全国学校給食週間の取組～

今年度の全国学校給食週間にかかる本校の取組が、去る1月24日(水)から30日(火)まで行われました。この取組は、「学校給食の意義や食品・栄養についての理解を深める」こと、「学校給食にかかわる人や給食センターの人への感謝の気持ちを持つ」ことを目的に、毎年、行われているものです。

今年度の取組では、期間中の給食に、平戸市や県内の郷土料理、平戸市と交流のあるオランダや中国の料理を取り入れた給食、さらには東南アジアのタイの料理も出されました。また、学年ごとに、地元の生産者さん・大川パン屋さん・給食センターの調理員さんなど給食に関係する方々へ『感謝の寄せ書き・掲示物』を作成し、贈呈しました。

24日(水)の給食集会では、各学年の給食委員による「読み聞かせ」や「正しい箸の持ち方の説明」、「学年対抗の豆つかみ競争」などがありました。特に、今回は、学年対抗のリレー形式で、お皿に入った様々な形の豆をお箸でつまんで別のお皿に移す豆つかみ競争が初めて行われました。どの学年の生徒も、一生懸命、豆つかみ競争に取り組むとともに、楽しみながら日ごろの箸づかいを見直すことができました。各学年の給食委員による様々な取組で、とても有意義で、楽しい給食集会となりました。

また、栄養教諭の永田先生からは、期間中の給食に関する掲示物や給食時の放送を通じて、その日の給食に込めた思いや献立・食材などの説明もありました。(※詳細は『食育だより 2月号』でお知らせしております。)

今年度も、様々な取組のおかげで、改めて学校給食について考え、学校給食に関わるすべての方々に感謝の気持ちを持つことができました。また、給食集会の準備や当日の運営に頑張ってくれた給食委員会の皆さん、お疲れ様でした！



### より良い教育活動を目指して～令和5年度 第2回 学校評価の結果から～

今年度の「第2回 学校評価」の集計が完了しました。結果のお知らせが遅くなりましたが、集計結果を裏面に掲載しております。大項目ごとの平均値は、「確かな学力…4.1」、「豊かな心…4.1」、「家庭との連携…3.9」、「教育環境…4.3」、「教職員…4.1」でした。どの項目も第1回の学校評価と同様に、全体としては良い評価を頂くことができました。しかし、細かく見ていくと、「学級だより」などの情報発信など、項目によっては、まだまだ不十分な点や反省・改善しなければならない点がありました。これらについては、職員会議で考察を行い、改善へ向けて共通理解を図っていきます。なお、毎週木曜日のメディコンデーなどにご家庭での取組をお願いしている「家庭での読書」の項目の平均値が、第1回の学校評価と同様にやや低いようです。毎週木曜日のメディコンデーの取組とともに、家庭での読書へのご協力をお願いいたします。

今回の学校評価から把握できた成果や課題を、今後の本校の教育活動に生かしていく所存です。保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力・ご支援をお願いいたします。



